

毎日のお手入れ

お手入れの際は必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください

プリンタをより良い状態でご使用いただくために、1日の作業終了後に以下のお手入れを必ず行ってください。
詳しくは「取扱説明書 4章 お手入れ」と「お手入れのお願い」をご覧ください。

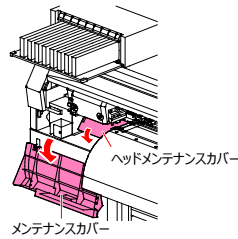
お手入れに必要な道具

- ・ソルベントインクをご使用の場合は、ソルベントインク用メンテナンス洗浄液200キット (品番: SPC-0369)
- ・昇華転写インクをご使用の場合は、昇華転写用洗浄液ボトルキット (品番: SPC-0137)
- ・ヘッド周辺用クリーンスティック (品番: SPC-0527)
- ・ゴーグル (プリンタに付属)
- ・手袋 (メンテナンス洗浄液キットに付属)
- ・乾いた布 (毛羽立ちのないきれいなコットン)
- ・綿棒 (メンテナンス洗浄液キットに付属)

1. ヘッドメンテナンスの実行

「ヘッドメンテナンス」を実行し、キャリッジやステーション周辺の清掃を行ってください

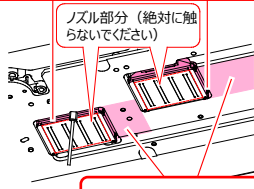
- (1) ローカルで、[FUNC1](MENU)キーを押す
- (2) 「メンテナンス」を選択して[ENTER]キーを押す
- (3) 「ステーションメンテ」を選択して[ENTER]キーを押す
- (4) 「キャリッジアウト」を選択して[ENTER]キーを押す
- (5) 「ヘッドメンテナンス」を選択して[ENTER]キーを押す
- (6) ヘッドメンテナンスカバー、メンテナンスカバーを開ける



2. ヘッド周辺の清掃

クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ヘッド周り、キャリッジの底面に付着したインクを拭き取ります

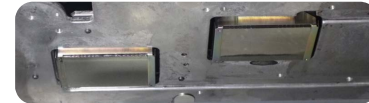
ヘッドの側面をクリーンスティックで清掃します



キャリッジ底面をクリーンスティックで清掃します



清掃前 ※写真はCJV300



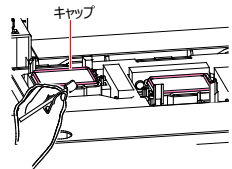
清掃後 ※写真はCJV300

※図はCJV300

重要! 清掃中にノズル部分を絶対に触らないでください

3. キャップの清掃

クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、キャップゴムに付着したインクを拭き取ります



※図はCJV300



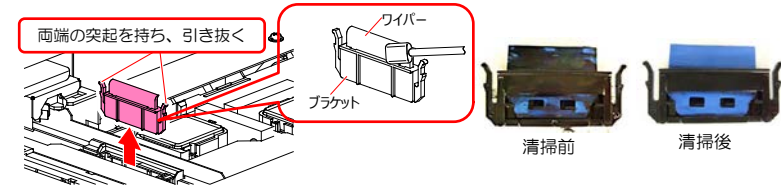
清掃前

清掃後

重要! キャップに乾燥したインクやゴミが付着すると、ノズル面を密閉することができなくなり、ノズル面乾燥したり、クリーニング機能を実行してもノズル抜けが解消されないことがあります

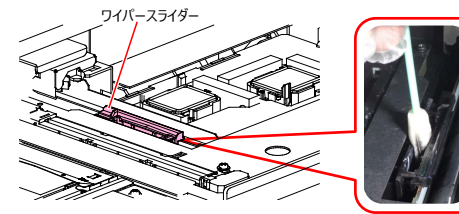
4. ワイパーの清掃

クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります



重要! ワイパーに乾燥したインクが付着した状態で使用を続けると、ノズル内に乾燥したインクが入り込みノズル詰まりの原因になります。

② クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーライダーに付着したインクを拭き取ります



5. メディアセンサーの清掃

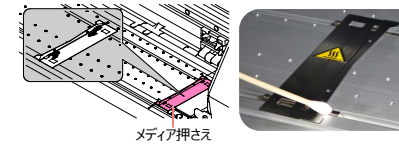
綿棒で装置背面側のプラテン上とキャリッジ底面にあるメディアセンサーに付着したホコリ等を拭き取ります
汚れが落ちにくい時は、水で薄めた中性洗剤を含ませて拭き取ってください



重要! センサーの清掃には、有機溶剤を絶対にお使いにならないでください

6. メディア押さえの清掃

乾いた布や綿棒でメディア押さえに付着したカットくずやホコリ等を拭き取ります



7. メンテナンスの終了

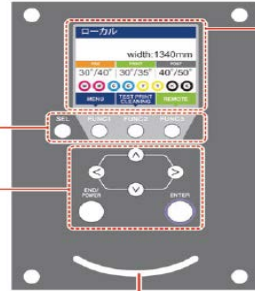
各清掃終了後、ヘッドメンテナンスカバー、メンテナンスカバーを閉じて[ENTER]キーを押します

オペレーションメニュー

1. 操作パネル

[SEL]キー
ファンクションボタン([FUNC1]~[FUNC3])の機能を切り替えます。

[FUNC1]/[FUNC2]/[FUNC3]キー
各種機能の設定やテストプリントをするときに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL]を押すたびに切り替わります。



- 次の各項目を表示します。
- 本装置の状態
 - セットしているメディアの幅
 - ヒーター温度（現在温度 / 設定温度）
 - インクの状態
 - [FUNC1]~[FUNC3]に割り当てられている機能

ジョグキー[-][+] [↑][↓]
ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

[END/POWER]キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の段階に戻す場合に使用します。また、電源のON/OFFをする時に使用します。(電源を切るときは、長押ししてください)

[ENTER]キー
1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

状態表示ランプ
本気の状態（プリント中、エラー発生中等）をランプでお知らせします。

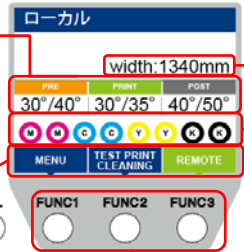
ランプの点灯状態	装置の状態
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラーなどが発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。
青色点灯	テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点滅	本気にプリントデータが残っている状態です。
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー(SYSTEM HALT)が発生しています。

2. ローカル、リモート、ファンクションキー

【ローカルモード】

現在のヒーター温度を表示します。現在のヒーターの状態によって、温度表示の上にあるアイコンの色が変わります。

- オレンジ：温度上昇中
- 緑：設定温度に到達
- グレー：ヒーターOFF



検出したメディア幅を表示
検出したインク残量(目安)を表示

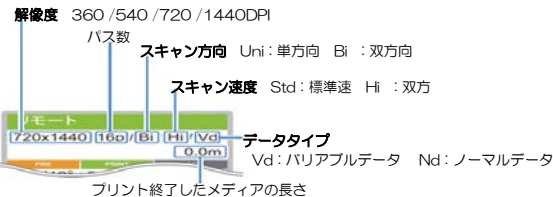
ファンクションキー
[FUNC1]~[FUNC3]に設定されている機能を表示

[SEL]キー ファンクションキー[FUNC1]~[FUNC3] [SEL]キーを押して機能を切り替えます。

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。全てのキーが有効です。

コンピューターからデータを受信できますが、プリントは行いません。

【リモートモード】



受信したデータをプリントまたはカットします。

【ファンクションキー】



[FUNCTION]を含む専用キー、[TEST PRINT]や[HEATER]など使用頻度の高いメニューが[FUNC1]~[FUNC3]に割り当てられています。
[SEL]キーで切り替えが可能です。



アイコン	内容
MENU	プリント/カット 各機能を設定する"MENU"を表示します。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニングなどのメンテナンス機能を表示します。
REMOTE	ローカル/リモートを切り替えし、リモートにするとプリント/カットを開始します。
LOCAL	
ADJUST	プリント時のフィード補正・ドットイジ補正等の調整機能を表示します。
HEATER	プリント時のヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	マシン内部のプリントデータおよび、カットデータのクリアを実行します。
TOOL	カット時の圧力、速度、ツールオフセット等のカット条件設定を行います。
TEST CUT	試し切りを実行して、ツール条件の設定が適切に確認します。
PR	ピンチローラーの圧力設定を行います。

3. メニュー内容

<プリント機能メニュー> <カット機能メニュー> それぞれの詳細は、取扱説明書をご確認ください。

		メニュー内容	
プリント機能メニュー	設定	フィード補正、ドット位置補正、ヒーター設定、その他、プリント条件を設定することができます。	
	メンテナンス	ステーションメンテ、オートメンテナンス、その他、メンテナンスに関する各種設定ができます。	
	マシン設定	確認フィード、オートパワーオフ、その他、本装置を快適に使用するための各種設定ができます。	
	ノズルチェック	ノズル抜け検出機能に関する設定ができます。	
	情報	使用状況、バージョン、その他、装置情報を確認できます。	
カット機能メニュー	カッティング	トンボ検出	トンボ付きのデータをカットする際に設定します。
		カットモード	カットの品質を設定します。
		距離補正	メディアの厚さにより生じるメディア送り量の誤差や、カット中にメディアの移動量が左右で違ってしまふ場合などに、補正します。
		コピー	受信済のデータを複数枚カットすることができます。
		ツール交換	カッターホルダー等を交換するときに選択します。
		設定サブメニュー	分割カット、アップスピード、その他、カッティングメニューが集約されています。
		メンテナンス	トンボセンサー調整、サンプルカット、オートメディアカットが可能です。